

研究課題名「重症敗血症および敗血症性ショック患者の身体機能に関する調査」に関する情報公開

1. 研究の対象

2010年2月1日から2016年9月30日までの間に敗血症または敗血症性ショックの診断にて当院の集中治療室に入室された方

2. 研究目的・方法

近年の急速な高齢社会の進展を背景に、集中治療室（ICU）で管理される患者は、年々重症化してきている。医療技術の発展により全身管理が進歩し、救命率が向上してきているが、救命された患者は身体的障害を経験し、生活の質の低下が問題となる。また、敗血症患者では筋力低下が高率で生じることが知られている。一方、ICU入室患者のICU退室時の移動能力は、筋力との関連があり、自宅退院や生存率を予測する独立した因子であることが報告される。このことから、筋力や移動能力のような身体機能は重要な指標であるが、ICU入室した重症敗血症および敗血症性ショック患者においては、どのくらい筋力や移動能力が変化するかどうかは不明である。本研究では、ICU入室した敗血症および敗血症性ショック患者の筋力や移動能力について後方視的に調査を行うことである。

方法は、2010年2月1日から2016年9月30日までの間に敗血症または敗血症性ショックの診断にて当院の集中治療室に入室された方を対象とし、診療録より情報を収集する。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

診療録より以下の情報を収集する。年齢、性別、身長、体重、治療歴・治療内容（使用薬剤、人工呼吸器管理日数、腎代替療法の有無など）、既往歴、併存疾患、疾患重症度、検査歴、合併症、入院期間、集中治療室在室期間、転帰先、生命予後、死亡原因、検査データ（血液、レントゲン画像、CT、MRI、病理検査、微生物学検査、心電図、心エコー検査など）、リハビリテーション（リハ）で得られた情報（リハ内容、運動機能、日常生活活動能力など）など。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学医学部附属病院 リハビリテーション部

理学療法士 中島裕貴

〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町 65 番地

名古屋大学医学部附属病院 リハビリテーション部

電話番号：052-744-2687 FAX 番号：052-744-2688

e-mail: nkjmx1121@med.nagoya-u.ac.jp

名古屋大学医学部総務課 電話番号：052-744-1901

研究責任者：

名古屋大学医学部附属病院 リハビリテーション部

理学療法士 清水美帆